

## 6-13 1992年6月22日山崎断層東方延長上で起きた地震について

### The Earthquake on June 22, 1992 which took place on the extension of the Yamasaki Fault

京都大学防災研究所地震予知観測センター

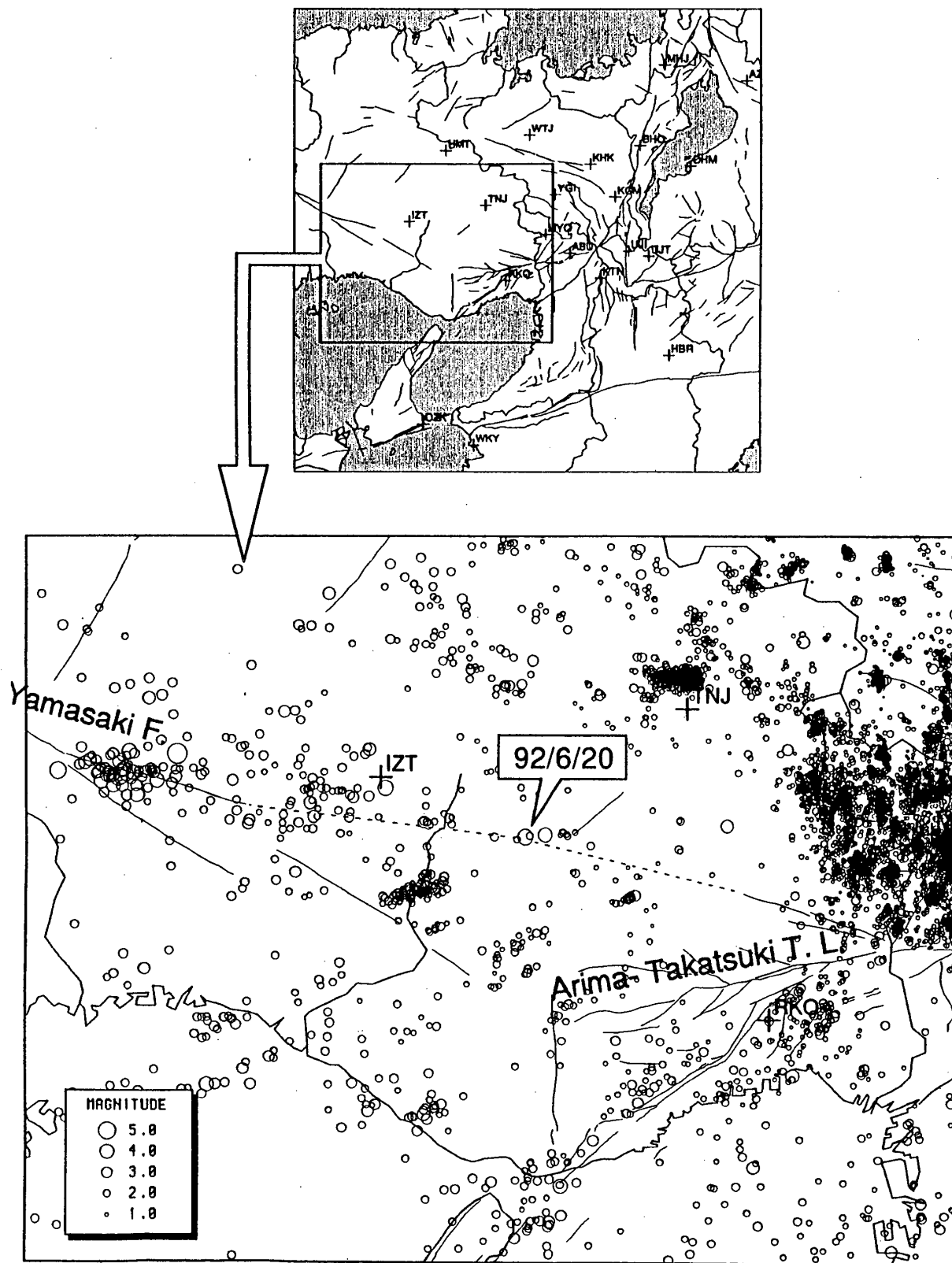
Research Center for Earthquake Prediction  
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

1992年6月22日20時12分、兵庫県東部でマグニチュード4.4の地震が発生した。震央は北緯35度55分16.19秒、東経135度02分53.38秒で深さ13.78kmであった。(京都大学阿武山観測所の決定による、第1図) 第2図に阿武山観測所の各観測点で得られた中周期低倍率地震計(上から六甲, 阿武山, 和知, 交野, 宇治, いずれも上下動成分)の記録を示す。この震央位置は山崎断層の東方延長上に当たる。この地域では、地形地質,  $\gamma$ 線, ELF・MT探査等により山崎断層系安富断層の東方に連続する社断層が存在しそれはさらに、有馬高槻構造線系に連続することが示されている。(茂木他1985) 第3図は初動押し引き分布より求めたこの地震のメカニズム解である(上半球投影)。図中の複数の節面は解の存在範囲を示している。このうち西北西-東南東の節面は山崎断層と走行が一致しており、これをすべり面と考えると山崎断層と同じく左横ずれとなる。第1図に見られるように、この付近の地震活動は周囲に比べてあまり活発ではないが、西方の山崎断層及び東方の有馬高槻構造線系の地震活動とも関連して今後も注目していくべきであろう。

(片尾浩・飯尾能久)

#### 参 考 文 献

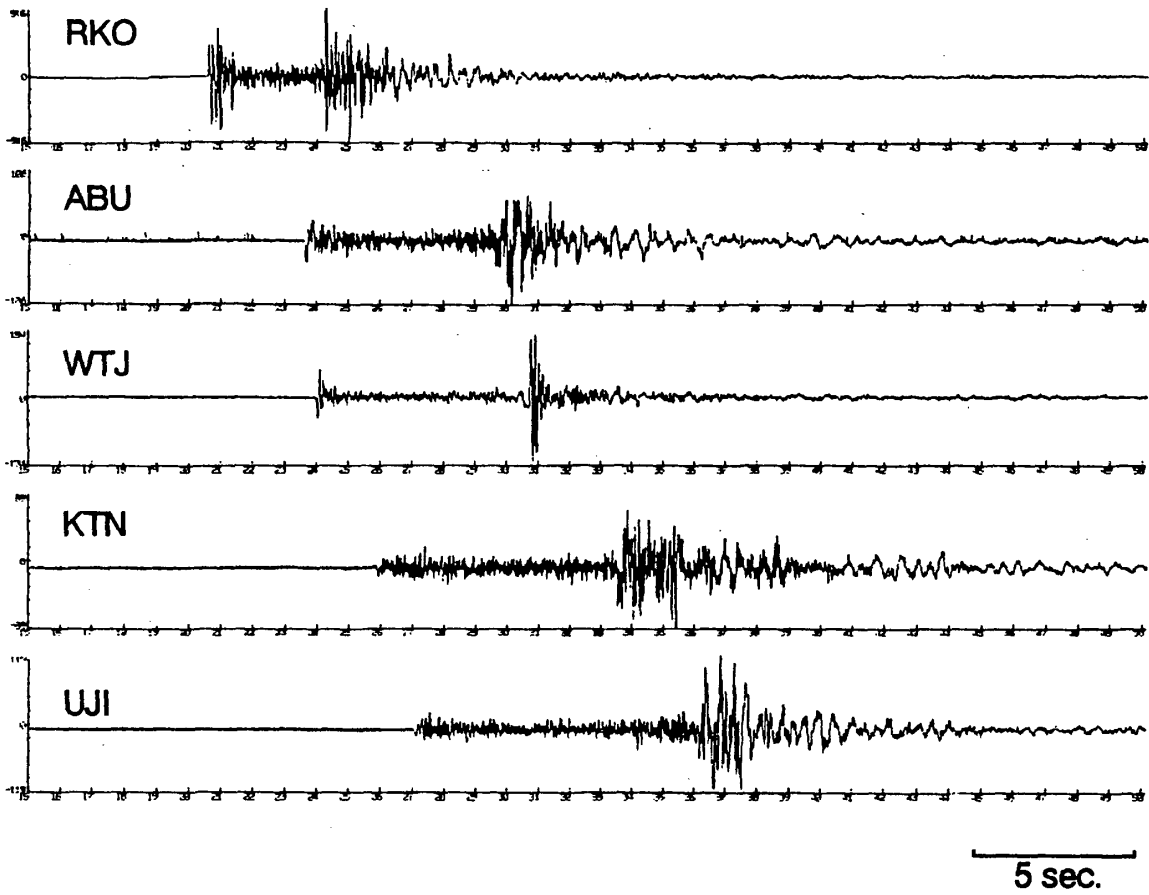
- 1) 茂木透・西村進・見野和夫・貞広太郎: 近畿北西部地域の活構造(1)—山崎断層東方延長地域—, 地震(1985), 57-66.



1976 JAN 1 – 1992 JUN 31    Depth < 30km

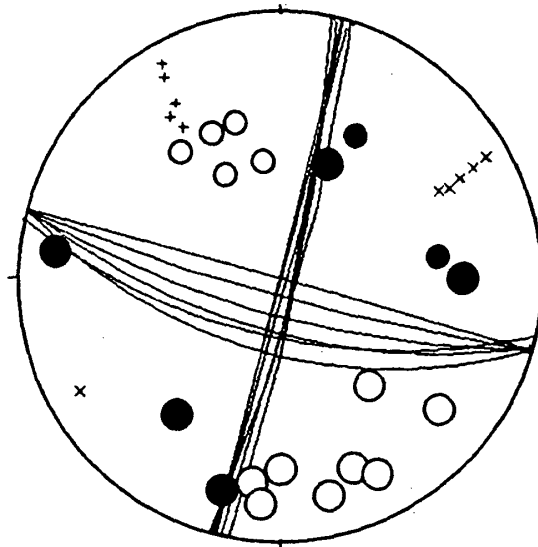
第1図 1976年から1992年6月までの兵庫県東部の地震活動及び今回の地震の震央。但し、深さ30km以浅のもの。山崎断層の延長を点線で示した。

Fig. 1 Epicenter of the earthquake on June 22, 1992 and Seismicity map for the eastern part of Hyogo Prefecture. (1976 January – 1992 June, Depth < 30 km) The extension of the Yamasaki Fault is shown as dashed line.



第2図 上から六甲，阿武山，和知，交野，宇治における中周期低倍率地震計上下動成分の記録。

Fig. 2 Up-down component seismograms of mid-period low-gain seismograph at Rokko, Abuyama, Wachi, Katano and Uji.



第3図 メカニズム解。(上半球投影)

Fig. 3 Mechanism solution.  
(Upper hemisphere projection)